箱庭とUnityですすめる オレオレロボットの動かしかた



森崇

(永和システムマネジメント)



箱庭チュートリアル会 #4 箱庭とUnityですすめるオレ オレロボットの動かしかた





箱庭で1からロボットを動かしてみよう!

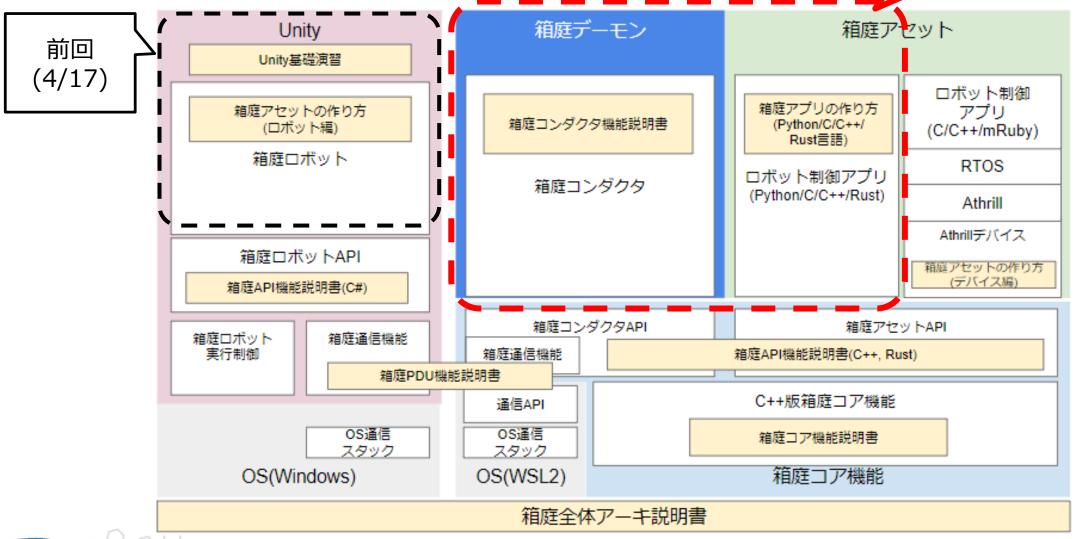


- 1. 前回の続き
 - 1. 箱庭ロボットの作り方
- 2. 箱庭ロボットの動かし方
 - 1. 箱庭強化学習をもう一度
 - 2. 組み立てたロボットを動かそう!
- 3. 箱庭のインテグ方法
 - 1. 箱庭の内部アーキテクチャ
 - 2. 箱庭のリポジトリ構成とビルド方法



現状の箱庭の全体像 (Windows版)

今回はココ (5/8)







箱庭ロボットの動かし方

- まずは、箱庭環境を準備頂く必要があります。
- そのうえで、今の箱庭体験頂こうと思います。







事前に準備頂きたいこと

- ・以下のQiita記事を参照していただき、インストール/動作確認を事前にお願いいたします
 - Windows + Unity + Pythonで箱庭ロボットを強化学習できるようにするための手順書
 - Mac + Unity + Pythonで箱庭ロボットを強化学習できるようにするための手順書
 - Ubuntuでも箱庭で機械学習するやつを動かそう

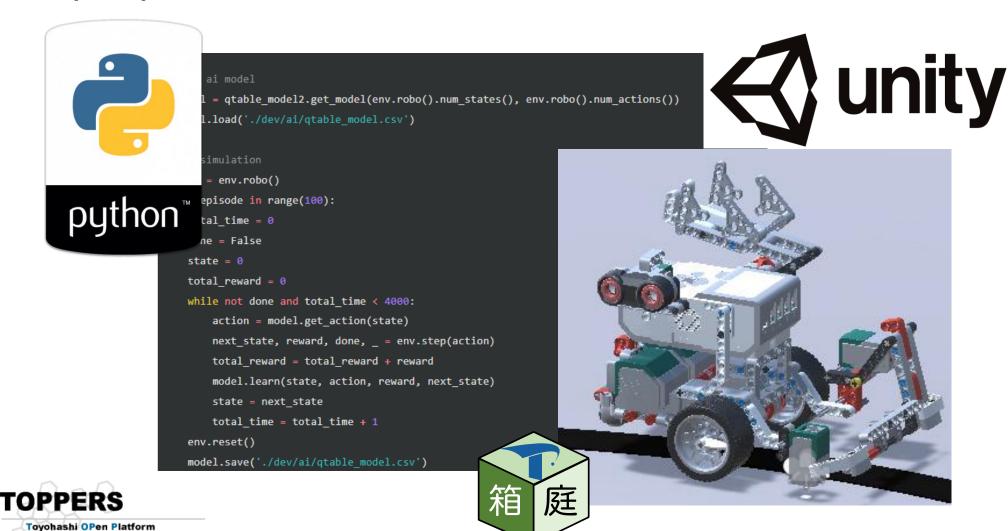


箱庭強化学習では、なにができる?

for Embedded Real-time Systems



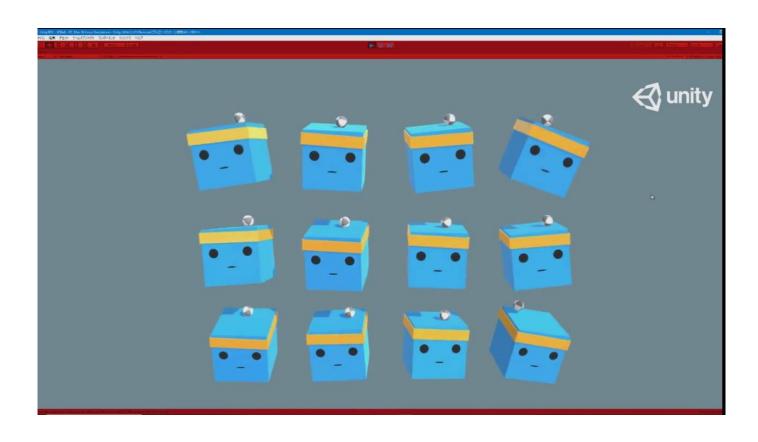
• UnityとPython使って、ロボットの強化学習を手軽にためせます!



Unity MLAgents との違いはなに?

箱庭

- ・似ている点
 - UnityとPython使って、Unity上のゲームオブジェクトの機械学習が手軽にできる





Unity MLAgents との違いはなに?



• 箱庭のうれしさ

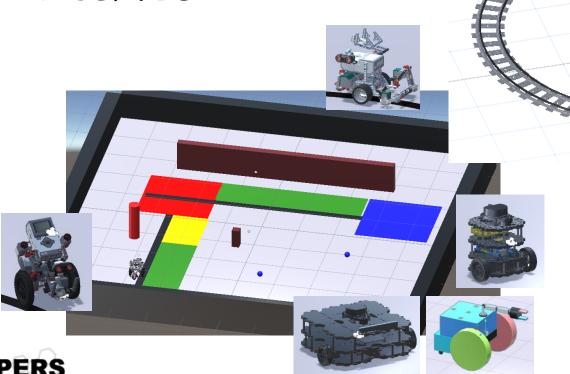
Toyohashi OPen Platform

for Embedded Real-time Systems

• 箱庭のロボットを試せる!

• 箱庭のロボット環境も作れる!

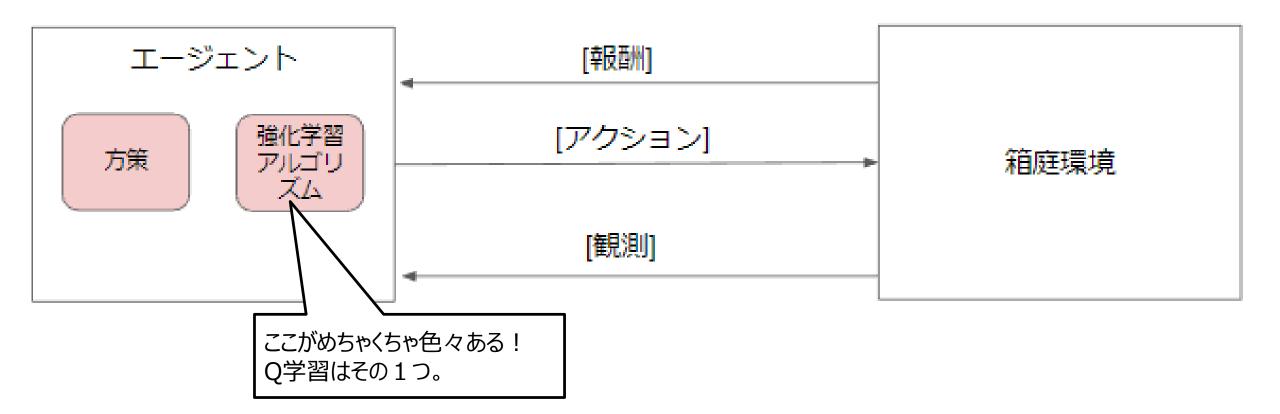
ホンモノでも試せる!



強化学習のアーキテクチャ



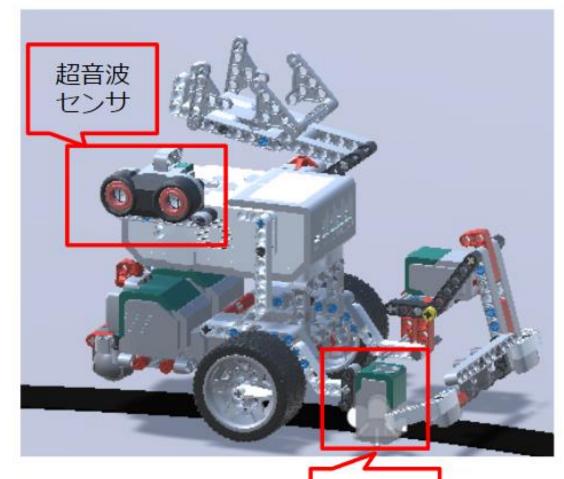
• こんな感じ。





強化学習で使用するロボット

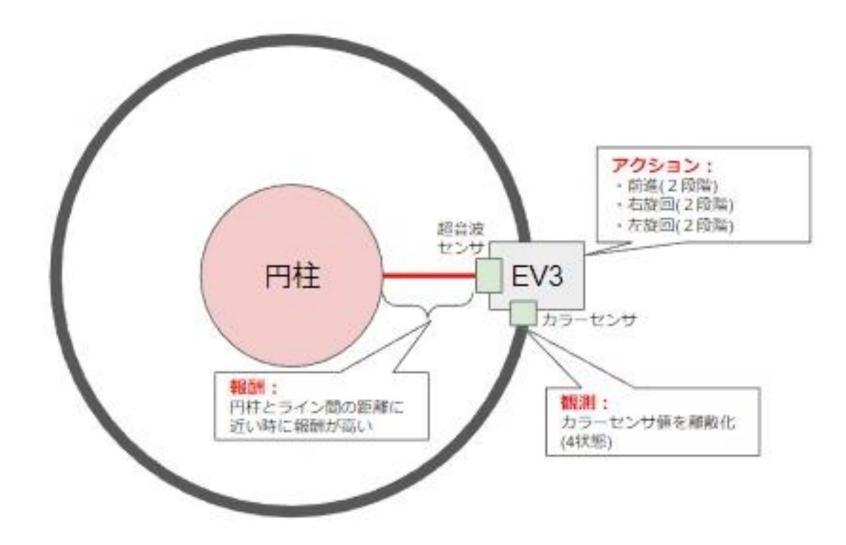




カラ**ー** センサ

強化学習デモ環境の説明







Qテーブル設計(ロボット視点)



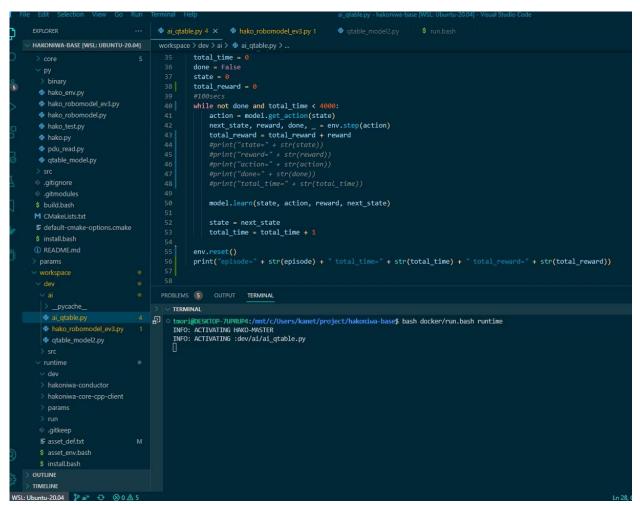
状態	前進		右旋回		左旋回	
	Power=50	Power=20	Power=50	Power=20	Power=50	Power=20
黒	??	??	??	??	??	??
黒に近い	??	??	??	??	??	??
白に近い	??	??	??	??	??	??
白	??	??	??	??	??	??

https://github.com/toppers/hakoniwa-base/blob/ai/workspace/dev/ai/qtable_model.csv



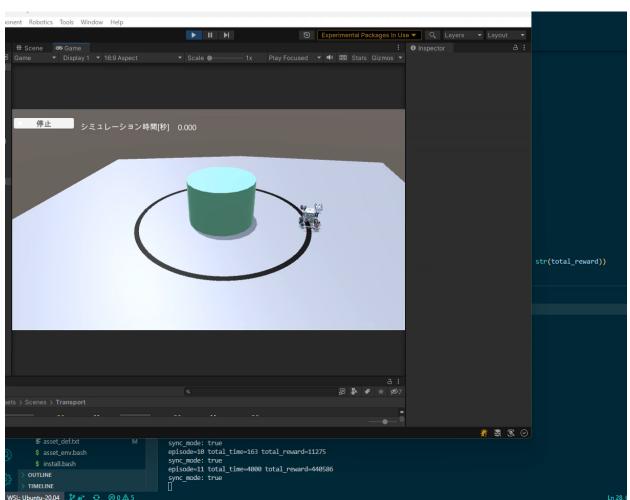
強化学習デモ

未学習状態:



学習済み状態:







箱庭チュートリアル会 #4 箱庭とUnityですすめるオレ オレロボットの動かしかた





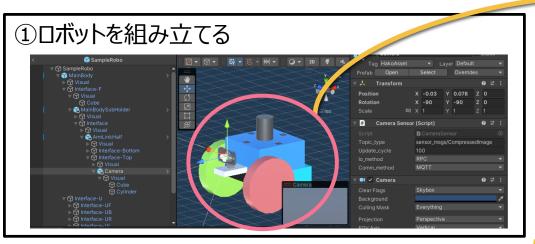
箱庭で1からロボットを動かしてみよう!



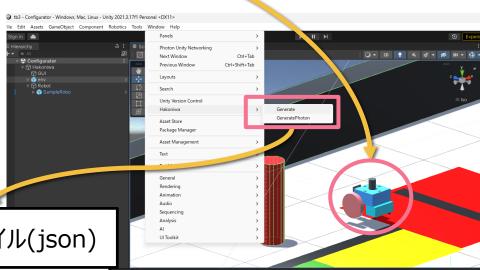
- 1. 前回の続き
 - 1. 箱庭ロボットの作り方
- 2. 箱庭ロボットの動かし方
 - 1. 箱庭強化学習をもう一度
 - 2. 組み立てたロボットを動かそう!
- 3. 箱庭のインテグ方法
 - 1. 箱庭の内部アーキテクチャ
 - 2. 箱庭のリポジトリ構成とビルド方法



組み立てたロボットを動かそう!

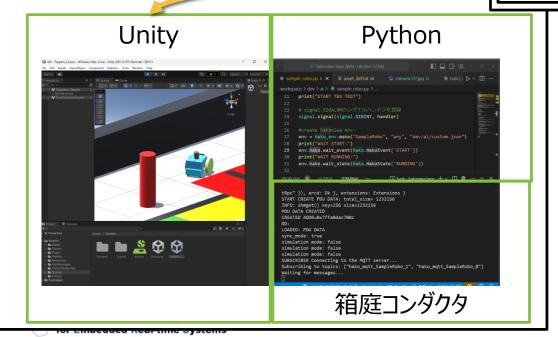


②ロボットを配置する



④箱庭シミュレーションを実行する

コンフィグファイル(json)



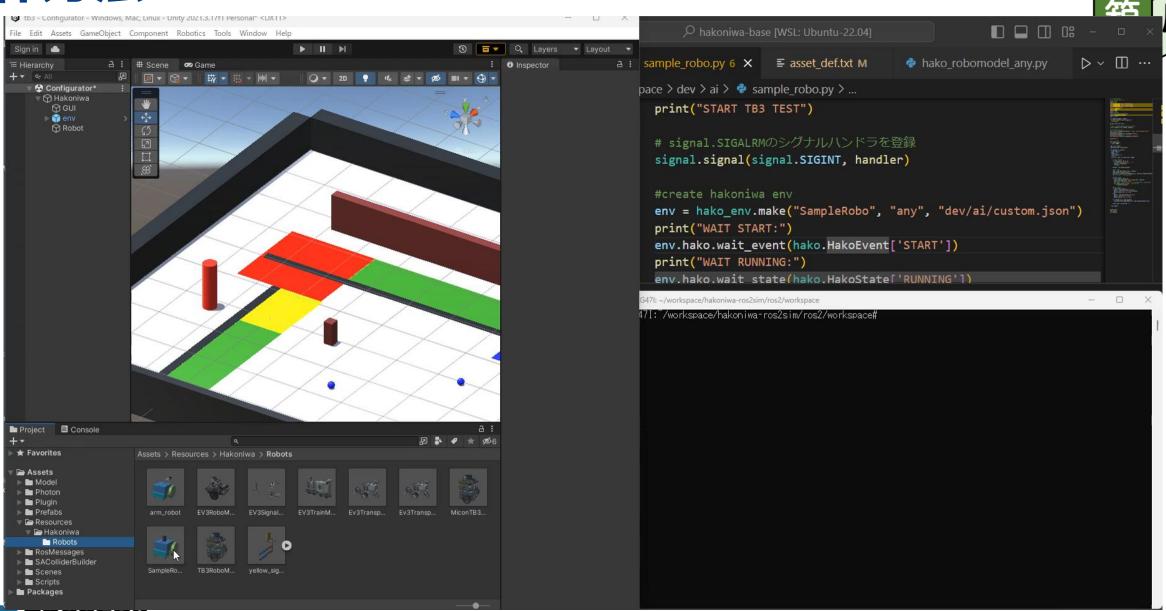
③Pythonでロボット制御プログラムを作成する

```
rv.robo().num_states(), env.robo().num_actions())

データ

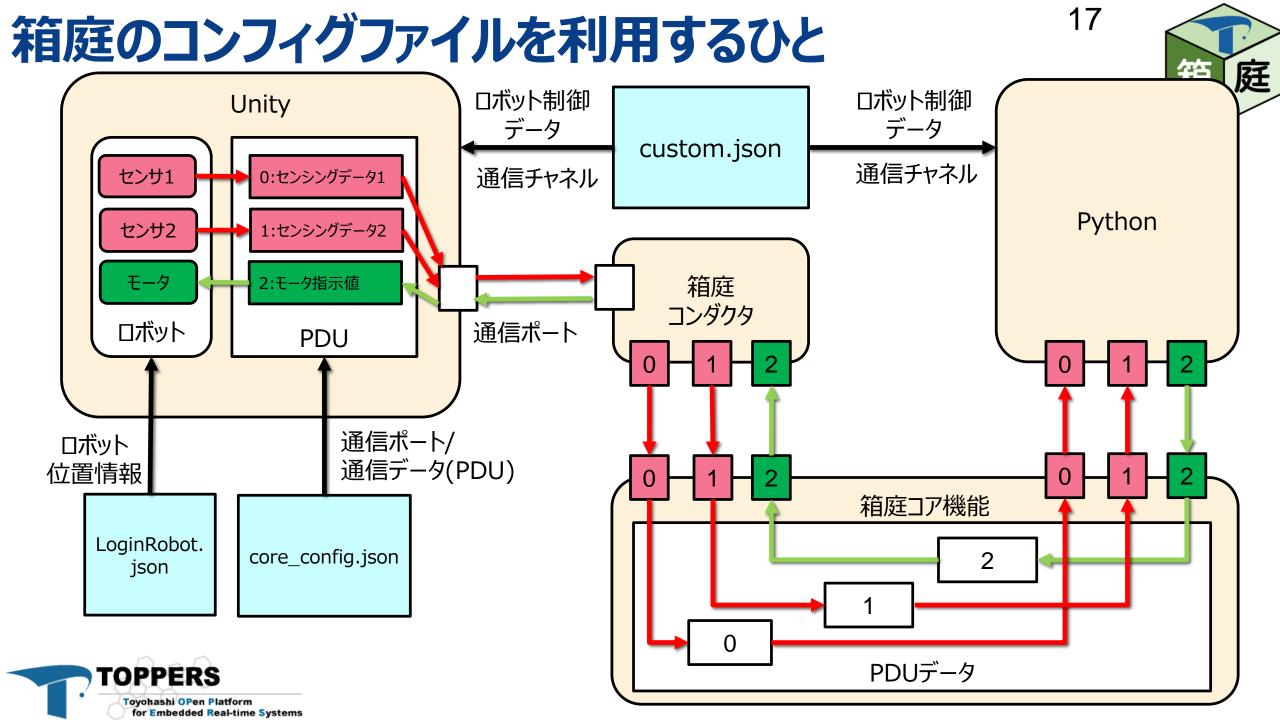
for episode in range(100):
  total_time = 0
  done = False
  state = 0
  total_reward = 0
  while not done and total_time < 4000:
        action = model.get_action(state)
        next_state, reward, done, _ = env.step(action)
        total_reward = total_reward + reward
        model.learn(state, action, reward, next_state)
        state = next_state
        total_time = total_time + 1
        env.reset()
        model.save('./dev/ai/qtable_model.csv')
```

操作方法



TOPPERS

Toyohashi OPen Platform for Embedded Real-time Systems



コンフィグファイルの種類

箱庭

- LoginRobot.json (hakoniwa-ros2sim¥settings¥tb3)
 - ロボットの位置情報
- **CUSTOM.jSON** (hakoniwa-ros2sim¥settings¥tb3)
 - ロボットのI/O方法
 - 各I/Oで使うデータと型
 - ・補足:以下にも配置されます
 - hakoniwa-base¥workspace¥dev¥ai
- COPE_CONFIG.jSON (hakoniwa-ros2sim¥ros2¥unity¥tb3)
 - 通信ポートの定義
 - ・箱庭通信用のPDUデータ定義
 - ・ロボットとPDUデータの関係定義



箱庭チュートリアル会 #4 箱庭とUnityですすめるオレ オレロボットの動かしかた





箱庭で1からロボットを動かしてみよう!



- 1. 前回の続き
 - 1. 箱庭ロボットの作り方
- 2. 箱庭ロボットの動かし方
 - 1. 箱庭強化学習をもう一度
 - 2. 組み立てたロボットを動かそう!

3. 箱庭のインテグ方法

- 1. 箱庭の内部アーキテクチャ
- 2. 箱庭のリポジトリ構成とビルド方法



箱庭のインテグ方法



箱庭内部 アーキテクチャ

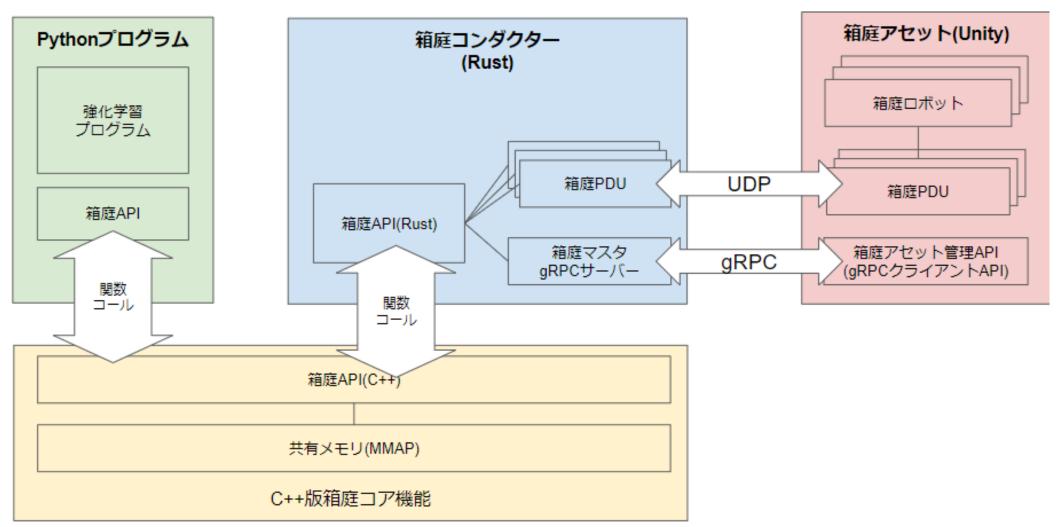
箱庭リポジトリ 構成

箱庭ビルド 方法 箱庭インストール 方法



箱庭の内部アーキテクチャ(Windows)

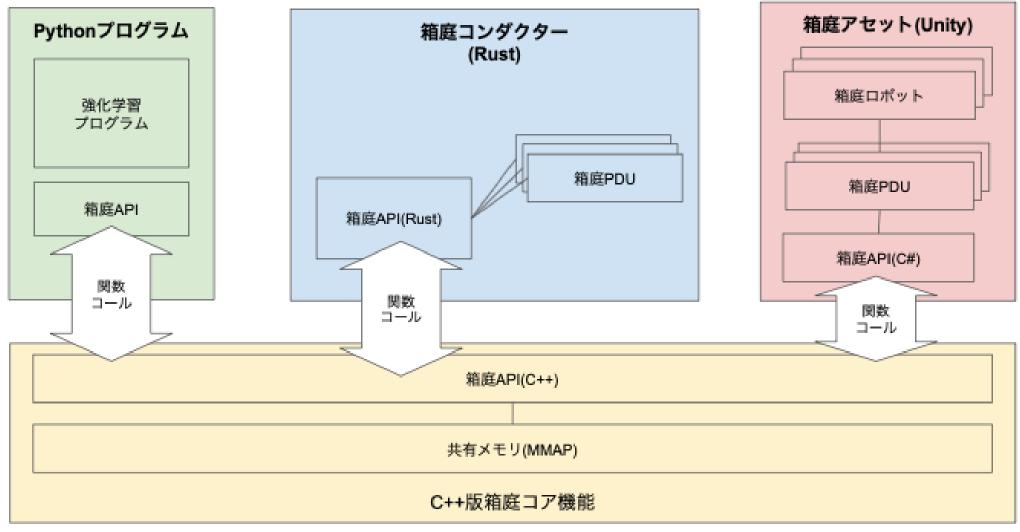














箱庭リポジトリ構成 submodule Unity 依存 hakoniwa-ros2sim (unity-asset) 箱庭コンダクタ Python hakoniwa-base hakoniwa-conductor hakoniwa-core <u>(ai)</u> hakoniwa-core-spec hakoniwa-core-cpp-client hakoniwa-core-cpp 箱庭コア機能

Toyohashi OPen Platform for Embedded Real-time Systems 23

箱庭ビルド&インストール方法(Unity側)

箱庭

- 1. hakoniwa-coreをクローン
- 2. DLLのビルド
 - Windowsの場合
 - Visual Studio をインストール
 - 以下をダブルクリック
 - https://github.com/toppers/hakoniwa-core/blob/main/impl/asset/server/csharp/HakoniwaCore/Hakoniwa.csproj
 - Visual Studioが起動
 - Visual Studioのメニューからビルド実行
 - dllファイルが、binのフォルダのとこにできます。
 - hakoniwa-core¥impl¥asset¥server¥csharp¥HakoniwaCore¥bin¥Debug¥netstandard2.0
 - Linuxの場合
 - bash ./impl/asset/server/csharp/HakoniwaCore/build_by_docker.bash Rebuild
- 3. インストール
 - hakoniwa.dllを、hakoniwa-ros2simの以下のディレクトリにコピーします。
 - hakoniwa-ros2sim¥ros2¥unity¥tb3¥Assets¥Plugin



箱庭ビルド&インストール方法(Unity以外)

箱庭

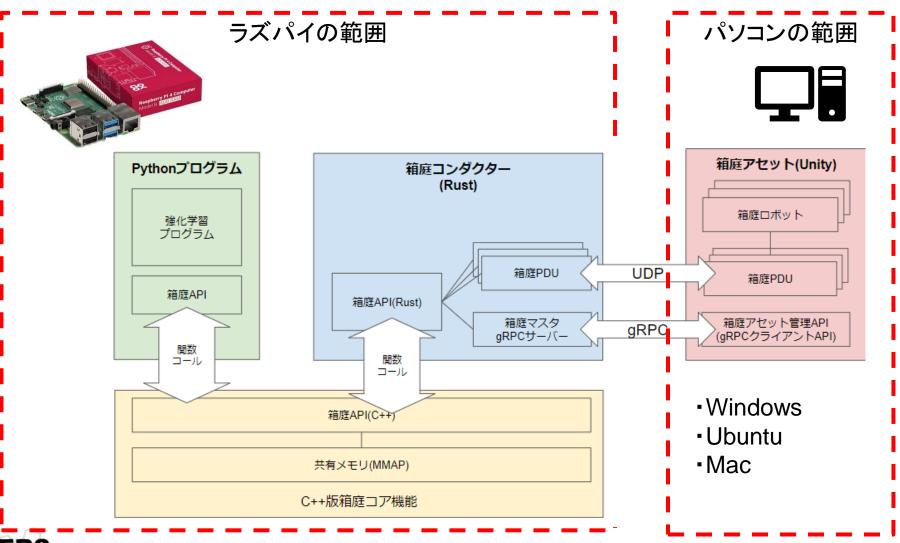
- hakoniwa-core-cpp-client
 - bash build.bash
 - 共有ライブラリができます(libshakoc.so)。
 - bash install.bash
 - /usr/local/lib/hakoniwaに libshakoc.soをコピーします。
- hakoniwa-conductor
 - cd main
 - bash build.bash
 - bash install.bash
 - /usr/local/bin/hakoniwaに箱庭コンダクタのバイナリをコピーします。



ラズパイ向けの手順と課題(まだ試してません・・・)

・アーキテクチャ







ラズパイでのビルドおよびインストール方法

箱庭

- 1. 事前に以下をインストール
 - git, gcc, make, build-essential, protobuf-compiler, ···
 - rust
 - Python3
 - ※参考:https://github.com/toppers/hakoniwa-base/blob/ai/docker/template/runtime/ai/Dockerfile
- 2. hakoniwa-base(aiブランチ) を recursive で clone
- 3. 以下をビルド&インストール
 - hakoniwa-core-cpp-client
 - hakoniwa-conductor

【ラズパイ対応での心配ごと】

- rustがインストール可能かどうか
- rust用のgRPCライブラリをインストール可能かどうか
 - tonic



パソコン側の設定

箱庭

- ・いつも通り、Unityのコンフィグファイルを生成します。
- core_config.jsonのパラメータを変更します。
 - core_ipaddr
 - IPアドレスをラズパイのIPアドレスに設定します。
 - asset_ipaddr
 - パソコンのイーサーネットのIPアドレスを設定します。



おまけ



ChatGPTと箱庭をつなげてみました。



投稿日 2023年05月02日 471 views

Organization

ChatGPTのAPI使って、Unity上の箱庭ロボットを動かしてみた!

Python, Unity, TOPPERS, 箱庭, ChatGPT

